

Wiener Musikseminar

ウィーン国立音楽大学 オンラインマスタークラスのご案内



株式会社東京国際ツアーズ
後援 一般社団法人 東京国際芸術協会

<ご案内>

音楽の道を志す皆様にとって、海外の音楽大学やセミナーにおいて様々な教授の指導を受けることは大きな学びであることと思います。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により今もなお海外渡航の困難な状況が続いています。そこで、皆様の学びの機会として Wiener Musikseminar のオンラインレッスンをご案内いたします。同セミナーは、オーストリア大統領の支援のもと 52 年目を迎える歴史あるセミナーであり、これまでも多くの音楽家の皆様が受講されています。将来の海外留学のご準備としてもお勧めいたします。

<セミナー開催期間・対象楽器>

2022年7月20日(水)～9月21日(水)

ピアノ科：7/20(水)～7/29(金)	Thomas Kreuzberger (トーマス・クロイツベルガー)
	Alexander Rössler (アレキサンダー・ロスラー)
8/3(水)～8/12(金)	Giuseppe Mariotti (ジュゼッペ・マリオッティ)
	Bernhard Parz (ベルンハルト・パルツ)
8/31(水)～9/9(金)	Vladimir Kharin (ウラジミール・カリン)
	Maria Rom (マリア・ロム)
	Alexander Rössler (アレキサンダー・ロスラー)
9/12(月)～9/21(水)	Thomas Kreuzberger (トーマス・クロイツベルガー)
	Johannes Kropfitch (ヨハネス・クロプフィッチ)
	Klaus Sticken (クラウス・シュティク)
声楽科：7/20(水)～7/29(金)	Barbara Zubanovic-Baranowska (バーバラ・ツバノヴィッツ・バラノフスカ)
8/3(水)～8/12(金)	Sona Ghazarian (ソーナ・ガツァリアン)
8/17(水)～8/26(金)	Sona Ghazarian (ソーナ・ガツァリアン)
8/31(水)～9/9(金)	Victoria Loukianetz (ヴィクトリア・ルキアネッツ)
	Clemens Unterreiner (クレメンス・ウンターライナー)
ヴァイオリン科：7/20(水)～7/29(金)	Edward Zienkowski (エドワード・ツィエンコフスキー)
8/3(水)～8/12(金)	Elisabeth Kropfitch (エリザベート・クロプフィッチ)
8/17(水)～8/26(金)	Eugeniy Chevkenov (エフゲニー・チェフケノフ)
9/12(月)～9/21(水)	Anna Gutowska (アンナ・グトヴスカ)
	Elisabeth Kropfitch (エリザベート・クロプフィッチ)
チェロ科：7/20(水)～7/29(金)	Claudia Sallagar (クラウディア・サラガー)
8/17(水)～8/26(金)	Anzel Gerber (アンツェル・ゲルバー)
フルート科：7/20(水)～7/29(金)	Barbara Gisler-Haase (バーバラ・ギズラー・ハーゼ)
8/3(水)～8/12(金)	Fereshteh Rahbari (フェレシュテフ・ラフバリ)
9/12(月)～9/21(水)	Erwin Klambauer (ウエルヴィン・クラムバウアー)
クラリネット科：7/20(水)～7/29(金)	Kurt Schmid (クルト・シュミット)
8/3(水)～8/12(金)	Kurt Schmid (クルト・シュミット)
8/17(水)～8/26(金)	Kurt Franz Schmid (クルト・フランツ・シュミット)
8/31(水)～9/9(金)	Kurt Franz Schmid (クルト・フランツ・シュミット)
9/12(月)～9/21(水)	Kurt Schmid (クルト・シュミット)
サクソフォン科：7/20(水)～7/29(金)	Kurt Schmid (クルト・シュミット)
8/3(水)～8/12(金)	Kurt Schmid (クルト・シュミット)

<セミナー内容>

- ・60分レッスン x 4回 ※原則として月～金曜日の16～21時に実施
- ・事前オリエンテーション(オンライン受講に際し必要な設定の説明を含む)
- ・オンラインによる参加者コンサート(YouTube配信予定) ※各セミナー期間で開催
- ・ウィーン国立音大構内および周辺の街並みをオンラインにてご案内するバーチャルツアーを開催

<参加者特典>

- ・次回東京国際芸術協会主催（または協賛、後援）の海外マスタークラスにご参加される際の事務手続代金を50%割引いたします
- ・ウィーン国立音楽大学での授業の様子や大学構内の様子をリモートでご覧いただけるプログラムをご用意いたします（時差の関係上、夜間の時間帯でのご案内となる可能性あり）。
- ・ウィーン留学をご検討中の方向けに、現地での生活の様子や留学に向けて必要なご準備・手続き等についての説明会を開催いたします。

<講習会参加費> ※本セミナーは海外マスタークラス助成オーディションによる助成対象外となります

受講料	： ￥107,800（4レッスン分）
通訳料（希望者のみ）	： ￥27,500（4レッスン分）
手配手数料	： ￥22,000（送金手数料を含む）

※通訳を希望しない場合でも、受講時の教授判断により必要となる場合があります。

<講習会開催場所>

基本的にご自宅でのリモートレッスンとなります（レッスンツールには Zoom アプリを使用いたします）。ご自宅でのレッスン受講が難しい場合には、レンタル会場等での受講も可能です。

<申込締切日>

各セミナー開催期間の初日 3 週間前 ※最終締切 8/22（月）17:00 必着

<修了証>

コース修了後にディプロマをお送りいたします。

<申込方法>

お申込金（内金）として 30,000 円を以下の口座にお振り込みの上、申込書、振込明細書（お客様控え）のコピーと共に弊社まで郵送またはファックスにてお送りください。

【お申込金振込先口座】 三井住友銀行 日暮里支店 普通口座 8304687 (株)東京国際ツアーズ

<キャンセルについて>

受講料および手配手数料につきましては、お申し込み後のご返金はいたしかねます。

通訳料につきましては、各セミナー初日の 1 週間前より 100%の取消料を申し受けます。

なお、体調不良等やむを得ない事情により予定されたレッスンを受講できない場合には、レッスン日の 3 営業日 前までのお申し出に限り、振替日程を手配いたします。ただし、先生のご都合により次回レッスンで 2 回分を続けて受講となる場合がございます。

<その他>

- ・受講方法等の詳細につきましては、レッスンスケジュールの確定後、個別にご案内させていただきます。オンラインレッスンに必要な機材については、各自でご用意をお願いいたします。事前オリエンテーションの際に接続時の音響調整等を行います。
- ・東京国際芸術協会は、レッスンの受講手続きに必要な個人情報(株)東京国際ツアーズと共有いたします。またレッスン運営に関する手続きを(株)東京国際ツアーズへ委託いたします。そのため、お申込後のご案内は(株)東京国際ツアーズよりご連絡差し上げます。ご不明な点等 ございましたら、(株)東京国際ツアーズまでお問合せください。

<お問合せ・お申込み先>

株式会社東京国際ツアーズ

観光庁長官登録旅行業 1353 号 日本旅行業協会正会員

〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301

TEL 03-6806-7820 FAX 03-3806-8556 master@ti-tours.com

ウィーンナー ムジークセミナー 担当教授

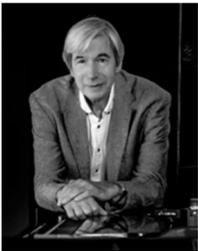
ピアノ教授：

Thomas KREUZBERGER トーマス・クロイツベルガー



ウィーン生まれ、ウィーン国立音大にて Hans Petermandl, Frieda Valenzi 氏に、大学院課程では A. Jenner and A. B. Michelangeli 氏に師事。ヨーロッパ、アメリカ、日本でコンサートを開催。現代の名手の作品に関心を寄せている。リスト、シューマン、Eröd の作品を収録した CD を出版。1993 年よりウィーン国立音大およびウィーン市立音大 concert-piano クラスの教授に就任。国際コンクールの審査員であり、日本やアメリカにてマスタークラスを実施している。

Alexander RÖSSLER アレキサンダー・ロスラー



ウィーン国立音楽大学元教授。シュトゥットガルト、ミュンヘンにて K. H. ディール、R. ケラーに師事。フィレンツェの M. ティポより奨学金を受ける。ウィーン、ベルジャにて S. ノイハウスのマスタークラス受講。1981 年首席にて卒業。バルセロナコンクール優勝。ポーランドではシマノフスキー受賞記念メダルを授与された。1973 年以降、ソリストまたは著名なソリストの室内楽パートナーとしてヨーロッパや海外で多くのコンサートを行った。1990 年以降、ヨーロッパ、韓国、日本のマスタークラスを定期的に受け持つ。ピアノコンクール審査員。ラジオ出演や CD レコーディング（シューベルト、シューマン、ブラームス等）を行う。レパートリーはブラームスとベートーヴェンが中心となるが、ウィーンクラシック、シューベルト、メンデルスゾーン、シューマン、スクリャーピン、シマノフスキー、プロコフィエフも得意としている。現代作品ではジャズ、ブルース、自由即興が挙げられる。

Giuseppe MARIOTTI ジュゼッペ・マリオッティ



1963 年生まれ。幼い時からコンサート活動を始め、ピアチェンツァ音楽院でピアノ、オルガン、作曲を学ぶ。1984 年からウィーン国立音楽大学に 6 年間在籍し、ピアノ奏法を H. グラフ教授のもとで学ぶ。やがて J.S. バッハの作品から現代作曲家の作品までの幅広いレパートリーをこなす卓越した演奏家となる。ソリスト、室内楽奏者、声楽の伴奏者として、ヨーロッパ、アメリカ、ロシア、イスラエルで演奏活動を精力的に行い、ラジオ、テレビにも数多く出演している。国際コンクールの審査員、音楽出版の寄稿家としても定期的に活動している。1999 年よりウィーンのプロテスタント教会の音楽監督を務めている。室内楽オーケストラ「アンサンブル・サリエリ・ウィーン」を創設し、A. サリエリの残したイタリアのバロック、オラトリオ、室内楽の演奏及びレコーディング等を意欲的に行っている。

Bernhard PARZ ベルンハルト・パルツ



1993 年、14 歳でオーケストラとピアノコンチエルトを初共演以来、ウィーン交響楽団メンバーとの共演等、ソロピアニストとして国内外での演奏活動を開始。1997 年よりウィーン国立音楽大学、A. コックス、H. オスベルガーのもとで研鑽をつみ、2001 年ウィーン国立音楽大学

ピアノ学科のディプロマを最高点で取得。1999–2002 年、バードイシュル祝祭管弦楽団の首席ピアニスト。フェルドキルヒェン夏季国際セミナー、プラハ・ウィーン・ブタペスト夏季国際セミナーで講師を務める。現在、若手ソリスト、室内楽奏者、指導者としてヨーロッパ各地で活躍、高い評価をうけている。

Vladimir KHARIN ウラジミール・カリン



モスクワ生まれ。6 歳よりモスクワ音楽院の英才教育コースでピアノを始める。モスクワ音楽院を卒業後、ドイツ・エッセンのフォルクヴァング芸術大学大学院へ進学、優秀な成績で同大学院を卒業。ドイツ、オーストリア、CIS 諸国、フランス、イタリア、日本、中国、インドネシアのコンサートホールより、国際コンクールの受賞者として、オーケストラとの共演、リサイタルや室内楽のために招待を受けている。ルール地方のピアノフェスティバルに数回出演し、ジョナサン・ダーリントンの指揮によるデュースブルク・フィルハーモニー管弦楽団との共演を果たす。2009 年からウィーン国立音楽大学で才能のある子ども達や若者へのピアノ指導を行っている。彼の生徒たちは、数多くの奨学金や国際コンクールで 1 位を受賞している。それらにはドイツのエトリングゲンでの国際コンクール 1 位 (2020 年)、チェコ共和国のコンチエルト・ティエノプラハ 1 位 (2021 年)、2019 年モスクワで開催された若いミュージシャンのための XX コンペティション「くるみ割り人形」での黄金のくるみ割り人形賞、第 3 回モスクワ国際「ウラジミール・クライネフ」ピアノコンクール (2019) 1 位、デンマークのアールフスで開催されたピアニストの国際コンテスト (2019) 2 位および聴衆賞の受賞等を含む。教師としてのウラジミール・カリンの名前は、世界に広く知られている。審査員として招致される他、世界のさまざまな都市でマスタークラスの指導者として招待を受けている。

Maria ROM マリア・ロム



ウィーン出身。「ウィーン市立音楽大学」と「ウィーン国立音楽大学」を卒業。ピアノの声楽伴奏、室内楽、ピアノ演奏のほか、「声楽と楽器のための音楽教育の芸術のマスター-ピアノ」を専門とする。2003 年より Musikschule Wien にてピアノ教師を務め、2017 年からは数多くのマスタークラスでインストラクターおよび伴奏者を務める。正統な音楽表現、作曲家の思いと個性を活かした演奏方法、音の動きを伝えるテクニック、パフォーマンスにおける心身のバランスに焦点を当てた指導を行っている。トリオ・ヴィエナルテのピアニストとして国際室内楽コンクールでの受賞歴があり、ミュンヘンで開催された「ARD 国際音楽コンクール」のファイナリスト。1990 年以降、ウィーン楽友協会やコンツェルトハウス等各国の著名なホールにてヨーロッパ、南アメリカ、日本他アジア圏でコンサートを開催。また、「ル・ボヌール・ミュージカル」、ラインガウ音楽祭においてトーンキュンストラオーケストラやウィーンフィルハーモニーとの共演を果たす。1994 年より、クルト・フランツ・シュミット教授と共に Duo Schmid-Rom, Trio Clarell, Trio Milhaud, Ensemble Definitiv, Collegium Viennense などの室内楽アンサンブルの一員として活動中。ORF にてピアノ作品を収録した数多くの CD を製作している。

Johannes KROPFITSCH ヨハネス・クロプフィツチ



幼少期より巨匠ヴィルヘルム・ケンプの元でピアノの手ほどきを受け、5歳でクラゲンフルト州立音楽院準備科に入学、ランガー・リュール教授の指導を受ける。15歳でウィーン国立音楽大学に入学。ペーター・マンドル・グラフ、イェンナー各教授の元で学び、同大学を全教授一致の最優秀の成績で卒業。同時にネイガウス教授のマスタークラス入学も許可される。在学中よりオーストリア共和国主催の『青少年音楽コンクール』ではピアノ独奏、室内楽二重奏（妹エリザベトと共に）、三重奏で第一位を受賞。『セニガリア国際コンクール』の第一位、『フランス・パリで開催された『マルグリット・ローン国際コンクール』ではアレックス・ド・ヴリー賞、ウィーン・バーゼンドルファーコンクールの第一位という輝かしい経歴を持つ。青年時代より妹エリザベト、弟シュテファンと共に『ウィーン・イェストリオ』を結成、世界各国で盛んに演奏活動を行っている。多忙な演奏活動と同時に教育者としても熱心に活動し、ウィーン国立音楽大学でグラフ教授のアシスタントを務めた後、クラゲンフルト州立音楽院教授、同音楽院国際セミナー教員を歴任、1998年よりウィーン市立音楽院でピアノ科、伴奏ピアノ科の教授として後進の指導に当たっている

Klaus STICKEN クラウス・シュティク



ハノーバーの音楽高校と劇場でコンラッド・マイスターとウラジミール・クライネフに師事する。また重要な指導者としてヴィタリー・マーグリシ、ジョージ・セボック、アルフレッド・ブランドが挙げられる。数々のコンクール（ブペー、アテネ、浜松）での成功により彼の国際的なキャリアが形作られた。彼の多様なレパートリーは数々のラジオ録音やCD製作を反映している。2002年から2009年にかけてベルリンの音楽高校「ハンス・アイスラー」で指導し、2009年からコンサバトリウムの教授に就いている。

声楽教授：

Barbara ZUBANOVIC-BARANOWSKA

バーバラ・ツバノヴィッツ - バラノフスカ



ドイツ人のメゾソプラノ歌手。ポーランド生まれ。芸名はヘレナ・ツバノヴィッチ。カトヴィツェの音楽アカデミーにて音楽教育を受けた後、ハンブルグ音楽演劇学校にて学び音楽研究で優秀な成績を修めた。Ingrid Kremling, Kerstin Mayer, Elio Battaglia, Brigitte Fassbaender, Teresa Zylis-Gara, Eva Blahová に師事。2019年10月1日より、グラーツ音楽大学、声楽部門の教授に就任。2021年夏のウィーンナムジークセミナーより Eva Blahová の後任を務める。A.Dvorak（カルロヴィ・ヴァリ）、Teatro Massimo（パレルモ）、Robert Stolz 国際オペレッタコンクール（ハンブルグ）、Mirjam Helin（ヘルシンキ）など、数多くの声楽コンクールで受賞した経歴を持つ。1993年、ポーランドのピトム・シレジアオペラにてミミとしてデビュー。1999年にメゾソプラノへ転向し、ストラヴィンスキーの「The Rake's Progress」の Türkenbab としてウィーン・フォルクスオーパーデビューを果たした。2013年にはドヴォルザークの「Rusalka」の Jezybaba 役にてミュンヘン・バイエルン国立歌劇場デビューを果たし、2015年にアンサンブルメンバーとなる。他にヤナー

チェク「Jenufa」の Kostelnicka 役、ブッチーニ「Il Tabarro」の Frugola 役、フンパーディンク「Hänsel und Gretel」の母親役を務める。ヘレナ・ツバノヴィッチはその他にも数多くの著名な劇場で多くのレパートリーを務めた。「Aida」の Amneris 役、「Il Trovatore」の Azucena 役、「Maskenball」の Ulrica 役、「Cavalleria Rusticana」の Santuzza 役、「Il Triticco」の La Principessa 役、Zia 役他多数あり。特筆すべきは、ジャンカルロ・デル・モナコ監督の「Flying Dutchman」が北京国立芸術センターで上演された際、Mary 役として中国初のワーグナー作品に参加したことである。また、彼女はコンサートシンガーとしての地位も確立している。モンペリエでのマラー第3交響曲、マルメ（スウェーデン）、ポーゼン、チューリッヒでのヴェルディレクイエム、ワルシャワのベートーヴェンフェスティバルと GroßeFestspielhausSalzburgo でのマラー「亡き子をしのぶ歌」、ベートーヴェン交響曲第4番においてアルトソロを歌唱した。ヘレナ・ツバノヴィッチはパレルモ・マッシモ歌劇場やマッシモ・ベッリーニ劇場、マエストランサ劇場、モンペリエ国立オペラ座、オスロ歌劇場、ザルツブルク祝祭大劇場、ブルノ国立劇場、その他多くの国際歌劇場において印象的なメゾソプラノ歌手としてオペラ公演を行い、キリル・ペトレンコ、シモーネ・ヤング、トーマス・ハヌスなど多くの有名指揮者と共演を果たしている。2016年、ポズナン音楽院を卒業し、博士号を取得。ボーカルコーチとしてポズナンとシュチェチンの音楽アカデミーで指導にあたった。

Sona GHAZARIAN ソーナ・ガツァリアン



バイロイト大学心理学科卒業。最優秀の成績で声楽コースを修了する。国際的に名高いオペラハウス（ロンドン・コベントガーデン、パリ国立オペラハウス、ウィーン国立歌劇場、ミラノスカラ座、ニューヨーク・メトリポリタン歌劇場、カーネギーホール、ブエノスアイレス、日本、その他）で70以上のオペラに出演。カルロス・クライバー、コリン・デービス卿、H. B.カラヤン、ゲオルグ・ショルティ卿とリッカルド・ムーティ等著名な指揮者を共演、38年間世界的なキャリアを積む。国際マスタークラスで指導、声楽の技術とオペラ解釈、リート、オラトリオに焦点をあてる。たぐいまれな功績で多数の賞を受賞。名誉歌手、芸術と科学の第一級金メダル受賞者としてオーストリア共和国から栄誉を与えられた。

Victoria LOUKIANETZ ヴィクトリア・ルキアネッツ



1990年グランプリ・モーツァルト・コンクール、民音コンクール（東京）、ペリーニ・コンクール（イタリア・カタニーヤ）、1991年グランプリ・マリア・カラス・コンクールなど優勝歴多数。メトロポリタン歌劇場、スカラ座、バステューユ歌劇場、モスクワ・ボリショイ劇場、新東京国立歌劇場等、世界中での多数の活動を行った後、2009年よりウィーンのプライナー音楽院で教授を務めている。

Clemens UNTERREINER クレメンツ・ウンターライナー



オーストリアにおける“Fach”の有名な解釈者の一人として人気のウィーンのバリトン歌手。過去 15 年以上に渡り、国内外で 1000 以上の作品に出演し、60 以上の役を演じている。また、ウィーン国立オペラ座の 20 以上の作品の初演に出演。ロンドン、パリ、ニューヨーク、東京、バーデンバーデン、コペンハーゲン、ドレスデン、

ブダペスト、ニースなど世界中のオペラホールやコンサート会場でゲストソリストとして出演した経験を持つ。イタリア語やフランス語、ロシア語の叙情的な作品から古典的な歌曲やミサ曲、オラトリオ、現代音楽を含む英雄作品のバリトンパートまで幅広いレパートリーを持つ。様々な作曲家の作品を通じ異なる言語で多様な役を演じてきた経験や著名な指揮者との協演経験が、声楽コンクールの審査員としての経験と同様に、現代のオペラ・シーンにおける彼の評論家としての地位を築いている。若い世代の現役の歌手として、同じ目線を持つ学生たちとの出会いは特に重要であるとの考えのもと、彼は自身のマスタークラスにおいて、長年に渡って研究されてきた役の解釈や演出方法と同様に、歌唱法や言語法、呼吸法についても指導している。

ヴァイオリン教授：

Edward ZIENKOWSKI エドワード・ツィエンコフスキー



ポーランドのルブリンに生まれ、ポーランドとドイツで学んだ。多数の国際コンクールで受賞。1981 年以降ソロとしてヨーロッパ、アメリカ、日本で演奏活動を行い、有名なヴァイオリンコンサートでの演奏を収録した。彼のレパートリーは、バッハから現代の作曲家の作品まで幅広い。1979 年から 82 年までベルリンフィルハーモニー管弦楽団のメンバ

ーであり、1982 年から 92 年は WDR Köln のコンサートマスターを務めた。1985 年以降はバイロイト音楽祭にてオーケストラのコンサートマスターを務め、1992 年よりウィーン国立音楽大学で教授、またヴァイオリンコンサートクラス主任となる。

Elisabeth KROPFITSCH エリザベート・クロプフィッチ



2011 年 10 月よりウィーン国立音楽大学教授に就任。ウォルフガング・シュナイダーハーンに師事。長年アイゼンシュタットのハイドン音楽院で教鞭をとる。国際的な演奏活動を行う一方 EMI・フンガルトンから CD をリリース。愛器は 1751 年製作のガダニーニ“d’Elia 1751”。

Eugeniy CHEVKENOV エフゲニー・チェフケノフ



プロブジフ（ブルガリア）に生まれる。2000 年に自身の演奏家としての類稀な業績によりオーストリアの名誉市民権を受けている。同年にウィーンの「ギュスターブ マラー音楽学校」でヴァイオリン教授となり、2012 年からは副学長に就任する。35 の国々でカーネギーホール、ウィーンの学友協会やコンツェ

ルトハウス、大阪シンフォニーホール、東京メトロポリタンアートセンター、メキシコシティのベジャス・アルテス宮殿といった一流のホールでコンサートを開催している。

Anna GUTOWSKA アンナ・グトヴスカ



ジェシュフ生まれ、スイスのローザンヌ音楽院にて J. Jaquerod 教授の指導を受け、同院を優秀な成績で卒業。その後、ウィーン国立音楽大学にて、Edward Zienkowski 教授に指示。修士課程および大学院課程を修了。フェルモでの「Andrea Postacchini」ヴァイオリンコンクール、トロンハイムでの国際室内楽コンクール、グダニスクでのバルト国際ヴァイオリンコンペ、大阪での国際音楽コンクールなど、国内外のコンペティションでの受賞経歴を持つ。T. Wojciechowski、T. Strugala、M. Dworzynski、Jose Maria Florencio Jr.、J. Maksymiuk、P. Wajrak、P. Chromcak のような著名な指揮者の下で、一流オーケストラのソリストとして活躍。2012 年より Edward Zienkowski 教授のアシスタントを務める。ポーランド、スロバキア、イラン、そして 2016 年よりウィーン国立音楽大学で教鞭をふるっている。

チェロ教授：

Claudia SALLAGAR クラウディア・サラガー



ウィーン生まれ。チェリスト、チェロ教師、音楽の才能のコーチ。ヨーゼフ・ルイツ、ヴォルフガング・ヘルツァー、ヒルトガンド・ポッシュ、ハーベイ・シヤピロ、アルト・ノラス、ヴァルター・デスパリ、オルフェオ・マンドッツィの各氏に師事。MDW（ウィーン音楽大学）でチェロを教えている他、いくつかの

ウィーン音楽学校のディレクターも務める。ソリスト、アンサンブルプレーヤー、およびオーケストラチェリストとして、過去 30 年間にわたって世界中でテレビ出演を行い、アンサンブルロンドウィーン、ウィーンオペラボールオーケストラ、ウィーンチェロデュエットなど、幅広いパフォーマンスを披露している。またプリマラムジカの審査員も務める。マスタークラスの目的は、レッスン曲の音楽的発展に加えて、現在の演奏と目指すべき演奏を探索することにより受講生の可能性を引き出すことである。これまでの演奏スタイルの微調整に焦点を当て、受講生のステージプレゼンス、外観、および入学試験への取り組み方法の強化について指導を行う。

Anzél GERBER アンツェル・ゲルバー



数々の国際コンクールにて受賞歴を持ち、その表現力豊かな音と技術力が観客を魅了するとの高評価を得ている。モスクワ音楽院に在籍、ゴールドスミスカレッジでのチェロ演奏における博士号の取得、ロンドン大学（イギリス）、テンプル大学（アメリカ）での研究を通じ、講師として、そして研究者として演奏分野における経験を持つ。また、研究分野において

若い才能のあるチェロ奏者に関する内容を中心とする。カーネギーホール、ラフマニノフホール、モスクワマールイ劇場、ウィーン楽友協会、クレモナ“ヴァイオリン博物館”内の講堂など国際的に有名なステージで意欲的に演奏活動を行っている。また、ソリストとして Carlos Izcaray、Gérard Korsten、篠崎靖男、Guido Ajmone-Marsan などの指揮者との協演経験を持つ。クレモナのヴァイオリンメーカー Giorgio Grisales によって製作された Gagliano cello のコピーを使用している。

フルート教授：

Barbara GISLER-HAASE バーバラ・ギズラー・ハーゼ



ウィーン生まれ。ウィーン国立音楽大学にてフルートを学び首席で卒業。在学中から数々のオーストリア若手アーティストコンクールで優勝。室内楽コンクールではユーラシア・カルテットのメンバーとして受賞。1974年、プラハ国際フルートコンクールで受賞。同年、ウィーン音楽大学で教員を始め、ソロやアンサンブル（フルートとギター、フルートとチェロとピアノ等）でコンサートを開催する。

1983年、コントラバスからピッコロ・フルートまでを含む珍しいアンサンブルを結成しCDをリリース、ラジオやテレビにも出演。またイスラエル、エジプト、トルコ、イラン、インド、台湾、韓国、南アメリカ、ヨーロッパ諸国等、世界中でコンサートを行う。1984～85年、フルート製造に関する研究プロジェクトでも主要な立場となる。毎年、特別マスターコースを開催。現在はウィーン国立音楽大学教授。

Fereshteh RAHBARI フェレシュテフ・ラフバリ



ウィーン音楽大学教員でウィーン音楽学校教授。1983年創立のウィーン・フルート奏団メンバー。数多くのラジオやテレビに出演する他CDもリリース。ヨーロッパ及びアジア圏でコンサートを開催。テヘラン国立音楽大学とウィーン国立音楽大学でフルート、フルート教授法、管楽器のための呼吸法を学ぶ。

Erwin KLAMBAUER ウエルヴィン・クラムバウアー



リンツ・アントン・ブルックナー大学とウィーン音楽大学にてウォルフガング・シュルツに師事。1993年から2013年までウィーン放送交響楽団の首席フルート奏者、2014年からウィーンシンフォニカーの首席フルート奏者。ヨーロッパ、アメリカ、アジアでマスタークラスを担当。2004年から2008年まで

ウィーンコンセルバトリー教授。2008年からグラーツ音楽大学教授

クラリネット（サクソフォン）教授：

Kurt SCHMID クルト・シュミット



ウィーン生まれ、R.イエッテルのもとウィーン大学で学ぶ。1963年よりNTOのクラリネットソリスト。1969年よりViennese musicにて勤める。1970年より指導経験を積み、1974年ウィーン音楽セミナー教授となる。1986年以降、作曲に焦点をあて、1993年、ウィーンクラリネットオーケストラの芸術監督、指揮者となる。

またオーストリア、日本、韓国でもマスタークラスを受け持つ。1996年よりウィーン音楽セミナーの芸術部門副代表。1999年より交響楽団オラデアのディレクター、指揮者となる。2002年よりルガンスク・フィルハーモニック・オーケストラ芸術監督、正指揮者。2003年よりルガンスク音楽大学教授。2004年3月から、ルガンスク音楽大学にて名誉博士となる。

Kurt Franz SCHMID クルト・フランツ・シュミット



J・M・ハウアー音楽大学で教授を行う。“Zemlinsky Quintet Vienna”と“Collegium Viennense”の創立メンバー。1977年以降ウィーンフォークミュージックにおいて“Wiener Terzett”で活躍、また1996年以降はGクラリネットにおいて多くのコンサートに出演。コンサート、ソロ演奏、クラリネットクインテットで数多くのラジオ、テレビ番組、CD収録した。1977年以降、ウィーンの学校で芸術教育を行い、1995年以降ヨーロッパやアジアでマスタークラスを行っている。現在ウィーン国立音楽大学にてR・イエッテルとベーター・シュミードルと共に研究を行っている。